

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成12年1月11日 第41報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanizomenon sp.*</i>	100		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	52		
(黄鞭) <i>Chromulina sp.</i>	30		
(黄鞭) <i>Synura petersenii</i>	17		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	2		
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima</i>	40		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	100		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis var. pusilla</i>	20		
(珪) <i>Stephanodiscus sp.</i>	10		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	9		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	35		
(珪) <i>Synedra acus</i>	8		
(珪) <i>Synedra sp.</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	20		
(褐) <i>Rhodomonas lens</i>	40		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	20		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	10		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	120		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus var. mirabile</i>	10		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	13		
(藍) 藍藻綱	100	13.4	36.6
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	99	13.3	12.4
(珪) 珪藻綱	304	40.8	11.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	1.3	0.2
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	10.7	3.8
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	153	20.5	35.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	746	総体積	1.3E+06
種類数	23	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	920

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
肉質虫類 <i>Raphidiophrys viridis</i>	280

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種

Golenkinia radiata (ゴレンキニア) 緑藻類

藻体は球形の単細胞で周囲に細い針状の突起をもつ。細胞の直径は約10 μm 、1個のカップ状の葉緑体を有する。

動物プランクトン第1優占種

Polyarthra vulgaris (ハネウデワムシ) 輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。
前部に2本の触角がある。

コメント:

植物プランクトンは緑藻のゴレンキニアが最も多かった。この種は南湖で少数ずつ見られてきた種であるが、毎日調査で優占種となったのは今回が初めてである。湖沼のプランクトンとして普通に出現し、有機質に富む富栄養水域を好むとされている。体積では、藍藻のアファニゾメノンが最も大きかった。